

大宮南ロータリークラブ週報

№.1207/第1687回例会(5/7)
(2013.5/14発行)

創立：昭和53年6月
例会日：毎週火曜日
12:30~13:30



会場：サンパレス

会長 佐藤 誠 副会長 柴田 覚 : 山崎 光夫 幹事 押目繁夫
事務局・さいたま市大宮区下町2-51-8コーポKEN406 ☎(648)645-0180 FAX(048)648-2188

“ PEACE THROUGH SERVICE ”

奉仕を通じて平和を

第1687回例会 プログラム

- 12:30 開会点鐘
ロータリーソング
「ロータリーの目的」唱和
会長挨拶・報告
幹事報告
各委員長報告
出席報告
ニコニコBOX報告
- 13:30 閉会点鐘
クラブ協議会

もうれしく思っております。我クラブも今年4月に50周年を無事に終えましたが、クラブの会員の中でも小宮氏は、真のロータリアンと申しますか、ロータリーの精神を一番わかっている方だと思います。今日は「岩槻城は誰が築いたか」をテーマに今まで小宮氏が研究してきたものをお話ししていただくと聞いて、私もぜひ出席したく、樺沢さんにご無理をお願いして参上いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

《会長挨拶・報告》 会長 佐藤 誠

皆様こんにちは、今日はいろいろと連絡・報告等がございます。まず今月26日(日)に佐藤年度2回目のゴルフコンペを開催いたします。今現在7組ほどの参加がありますがご参加されたい方おりましたら、ぜひお願いいたします。二番目に、今年度の目標でもある会員増強ということで、月に1名ずつで年間12名の新入会員を考えておりますが先だって斉藤会員からのご紹介でお一人の方が入会申し込み書をいただき、もうお一人の方が入会予定になっておりますので、来週の理事会までには何とかしたいと思っております。あと、残り2名ですが、今週中にはアプローチしてきたと考えています。それから、地区の方から当クラブに感謝状をいただきました。今年度の「奉仕を通じて平和を」、地区テーマの「ロータリーですばらしい出会いを」を实践されました、ということでガバナーの方から感謝状をいただきました。

第1686回例会

開会点鐘
国歌斉唱 「君が代」
ロータリーソング 「奉仕の理想」
ターゲット唱和・四つのテスト (宗像会員)

《お客様紹介》 副会長 柴田 覚
岩槻ロータリークラブ直前会長 青木 繁之 様
岩槻ロータリークラブ会員 小宮 勝男 様

《お客様ご挨拶》

岩槻ロータリークラブ直前会長 青木 繁之様



ご紹介にあずかりました岩槻RCの青木でございます。本日はプログラム委員長の樺沢さんから依頼を受けまして、当クラブの会員でもある小宮氏から、「ぜひ岩槻城についてお話しをしていただきたい」ということで、私もとて



お誕生日、おめでとうございます!



- 橋本 昭司会員
- 宗像 英明会員
- 大沢 守輝会員
- 片岡 隆史会員(本日欠席)
- 清水 良朗会員
- 小平 啓介会員

《幹事報告》

幹事 押目 重夫



・大宮アルディージャ新聞に当クラブの35周年記念事業として行いました桜の植樹式の模様が載っておりますのでご覧下さい。

・本日の卓話者、小宮勝男氏の著書「岩槻城は誰が築いたか」をクラブで10冊購入いたしました。1冊千円にてお売りしております。

外部卓話

シリコンスタジオ(株) 小宮勝男 様
テーマ 「岩槻城は誰が築いたか？」



皆様こんにちは、ご紹介にあずかりました小宮でございます。本日は、岩槻城に関してお話ししたいと思います。さて現在、岩槻城を誰が築いたか？という

ことがとても問題になっており、今から20年前に東京の北区の歴史研究会の人たちが、年1回発行している著書の中の論文に「立派な資料が見つかった。その資料を見ると岩槻城築いたのは、太田氏ではなく成田氏と思えるものがあるということ、その資料が当時と近い時代に書かれたもので、しかも立派なお坊さんが書いた文章なので確かなものである」ということで学者が言ったことだから、当時の岩槻市や教育委員会も反論できず、その間に合併してさいたま市になり、関心もなくなり、20年立ってしまいました。今まで、岩槻城は太田道灌ではなく、成田氏が築いたのではないかと問われでは、本当はどうなのか？と研究する人がいませんでしたので、素人の私がコツコツと研究してやっと本になりました。その中の要点をご説明いたします。

まず、その学者の方は、書いた論文の内容を検証していきます。1、資料として発見された明月院（鎌倉にある）住職が書いたという文章、「自耕齋誌軸の序」を読み解く

①武州崎西郡に村有り、いわく岩付 又いわく中扇 付は傳也
これは、読んで解るように、場所は岩槻で、岩槻という所にお城を建てるのに、協力していい仕事をした立派な人が岩槻にもいたという話ですが、最後の「付は傳也」の意味は、中国の故事の中に出てくる、当時お城を作った人でとても立派な人がいてその人の名字が「傳」と言った所から、「付は傳也」と言っている、つまり「岩付の付は傳と言う字に通じる」と言っているのです。しかしその「傳」という字をその学者の方が「傳」（でん）という字と間違えて論文に出していました。

②岩付左衛門丞頭泰公父故金吾 法諱正等 武略の名翼を狭み門蘭の輝あり一城を築く

岩付左衛門丞頭泰公の父で今は亡くなっている人で、戦も強いし策もうまいし、両方の才能を持っているその一門が栄えて輝いている、そんな人が城を作ったと書いてあります。この頭泰という名前をみただけですぐに成田氏と思いついて入っているのです。どこにも成田氏と書いてはな

成田氏が築いたことになってしまっています。

しかし、この文章から頭泰のお父さんという人が建てたことになっています。

③白羽扇三軍を指揮して、その中を守る

白羽根でできた扇を持っている人がいてその人が軍を指揮してその城を守ったという意味で、この白羽扇というのは、この人物は諸葛孔明のように立派な人だったと言っています。

④正等は常日頃、曹洞宗の明識月江正文に禅を学んでいた

岩槻城を建てた正等は曹洞宗の月江正文に学び、その方の名前をいただいて正等とした、と思われる。

⑤月江正文にゆかりの武将・長尾景仲・景信 太田道真・道灌、金子駿河守

月江正文とはどんな人か、さまざまな人とゆかりがあり、その中には大宮の大成にいた領主金子駿河守もいた。

⑥自得逍遙して東郊に作あれども供帳を設けて以て国林遊禾の拳すに過ぎざる也

太田道灌のお父さんが隠居していた場所と名前このようにさまざまな研究をしないうち太田氏ではなく成田氏だと言えるのか？この続きは私の書いた本をぜひお読みになって、誰が岩槻城を築いたか、理解して頂きたいと思います。本日はありがとうございました。

《出席報告》 龍前 篤司会員

会員数 38名 出席数 20名 出席率 52.6%



本日の卓話依頼のお礼と当クラブ樺沢プログラム委員長とは30年来のご夫婦共々の友人であり是非会いたいと思ひやうて参りました。よろしくお願ひいたします(青木) 青木様、小宮様、本日はようこそお越し下さいました。岩槻城に関する緻密な研究と講演活動に對しまして心より敬意を表します小宮様の著書をじっくり味わって読ませて頂きます(佐藤・押目) 興味深い岩槻城の話しありがとうございます(龍前) 卓話ありがとうございます(橋本堀・高橋・出野・樺沢・阪・八木・柴田・福地・堀田) お客様ようこそ(斎藤・大沢・清水・藤井) 昨日、5月6日で50歳になりました(宗像)

本日の司会 : 堀田 敏広会員

第1688回例会

クラブ協議会(次年度)

5月14日(火) サンパレス 12:30 点鐘